

## 第4章 IBM 5400-006の概要と機能

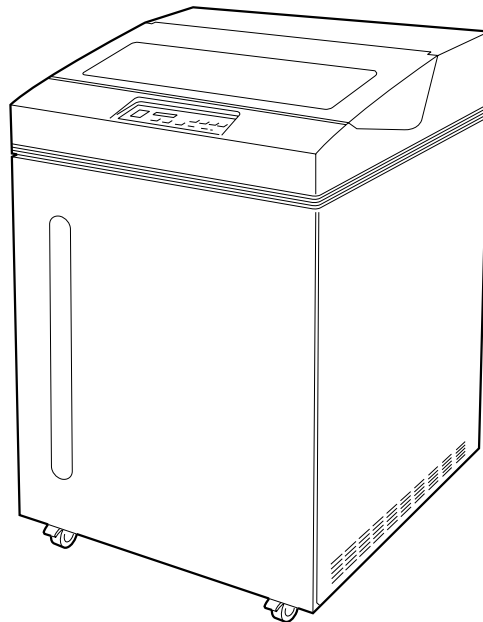
### 4.1 IBM 5400-006の概要

IBM 5400-006印刷装置は、高度な処理能力と豊富な機能を備えたシャトル機構による衝撃式ドット印刷方式の日本語プリンターです。

4つの接続形式（内 LAN フィーチャーで接続可能となるものが2つ）を持ち、次のどの使用環境においてもお使いいただけます。ただし、LAN フィーチャー選択時はシステム・ポート接続は使用できません。

- システム・ポート接続は、IBMの AS/400ファミリーに接続し、システム印刷装置として使用します。
- パラレル・ポート接続は、IBMシステム/370系（IBM 3174および3274制御装置、IBM 9370 WSS、およびIBM 4361 WSA）に接続されたIBM PC に接続し、ワークステーション印刷装置としても使用できます。
- Telnet5250 接続（LAN フィーチャー）は TCP/IP プロトコルでの Telnet Client 機能の標準サポートにより AS/400 Telnet Printer Pass-Through Mode (TPPT) を使用して LAN 経由で直接 AS/400 に接続できます。
- LPR 接続（LAN フィーチャー）は TCP/IP プロトコルでの LPR 接続をサポートしています。これにより LAN 経由での印刷が可能になります。

注： Telnet5250 接続と LPR 接続の両方を同時に使用することはできません。



IBM 5400-006は、以下のような特長を備えています。

- コピー強化、高品位、高速、超高速モードなど用途に応じた印刷モードがあります。

- 漢字および英数カナ文字ともに通常速モードで最高毎分360行、高速モードで最高毎分500行、超高速モードで最高毎分600行印刷できます。
- コピー強化モードにより8枚までの複写連続用紙に印刷できます。（通常速モードでは5枚までの複写連続用紙に印刷できます。）
- 180 dpi（1インチ当たり180ドット；1mm当たり約7.09個のドット）により、英数カナ文字、明朝体の漢字、お客様自身が定義した文字などを印刷します。
- 文字および行の間隔を適用業務に合わせて自由に選択できます。
- 縦書き、横書きを適用業務に合わせて自由に選択できます。
- 漢字および英数カナ文字はともに標準サイズと高さ18ドットのコンパクト・サイズの2種類の文字が選択できます。
- 英数カナ文字は、各種文字スタイルを選択できます。
- いろいろな用紙サイズを用途に応じて使用できます。
- バーコードを印刷できます。（PCに接続する場合は5577モードのみです。）
- 郵政省バーコードを印刷できます。（PCに接続する場合は5577モードのみです。）
- AS/400に接続する場合には、次の追加機能があります。
  - 英数カナ文字は、適用業務に合わせて英数カナ文字セット（130字）と英数文字セット（163字）を選択できます。
  - 見出しや文字を強調したい場合に拡大サイズで印刷することができます。
- PCに接続、またはLPRで接続する場合は、次のどちらかのエミュレーションを選択できます。
  - IBM 5577印刷装置の連続紙モードのエミュレーションを行い、5577プリンターとして使用する。Windows環境下で使用される場合、日本IBM Home Pageより最新の5400用プリンター・ドライバーを入手しご使用ください。
  - EPSON ESC/P プリンターの連続紙モードのエミュレーションを行い、ESC/P プリンターとして使用する。Windows環境下で使用される場合、Windows 付属のプリンター・ドライバーよりEPSON VP-1100 をご指定ください。
- LPR 接続を Windows 98/95 環境下で使用される場合、日本 IBM Home Page より最新の Windows 98/95 用 LPR 印刷ユーティリティを入手しご使用ください。

— ご注意ください —

- Windows NT 使用時、PC側で印刷を取り消したあとに再度印刷を開始する場合は、再印刷の前にプリンター側の電源を入れ直してください。
- Windows 3.1 使用時、何らかの条件によりプリンターに対するタイム・アウトが発生した場合は、プリンター側の電源を入れ直してください。
- LAN 環境下で使用される場合、プリンターに対するタイム・アウト時間設定を最大値にすることをお勧めします。

### 4.1.1 基本仕様

システム・ポート接続とパラレル・ポート接続に分けて基本仕様を示します。

#### システム・ポート接続/Telnet5250接続

AS/400 と接続するシステム・ポート接続および Telnet5250 接続の基本仕様は次のとおりです。

印刷方式	シャトル機構印刷技術を使用した衝撃式印刷
印刷モード (行間隔が6 lpi時)	通常速モード 最高 360行/分 高速モード 最高 500行/分 超高速モード 最高 600行/分 高品位モード (片方向印字) コピー強化モード (5種類のモード: 印字力強化/二重印字/段差紙)
印刷形式	横書き、縦書き
印刷密度	7.09ドット/mm (180ドット/インチ) (横、縦、同密度)
行間隔	4, 6, 8 lpi (システム/36, AS/400) 7.5 lpi (AS/400)
文字間隔 (注1)	英数カナ文字: 10, 15 cpi (システム/36, AS/Entry) 10, 12, 13.3, 15, 18 cpi (AS/400) 漢字: 5, 6.7 cpi (システム/36, AS/Entry) 5, 6, 6.7, 7.5 cpi (AS/400)
印刷幅	漢字: 最大68文字/行 (5 cpi) 英数カナ文字: 最大136文字/行 (10 cpi)
印刷可能文字セット	英数カナ文字セット 高さ24ドット 130字×8種類 高さ18ドット 130字×1種類 英数文字セット 高さ24ドット 163字×8種類 高さ18ドット 163字×1種類 IBM漢字システム文字セット 高さ24ドット 7,263文字 (JIS/83対応) 高さ18ドット 7,263文字 ユーザー定義文字 4,370文字
バーコード	種類: JAN標準、JAN短縮、CODE39、 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、 NW7 (Codabar)、カスタマ・バーコード (注1) 回転: 0°、90°、180°、270° (時計回り) 大きさ: 標準サイズ、拡大
印刷用紙サイズ	連続用紙 幅 3.5インチ~16インチ (注2) 長さ 8インチ~12インチ
電源	AC 100V (±10V)、50/60Hz (±1Hz)
最大消費電力	1.5KVA
寸法	幅660 × 奥行720 × 高さ1000 (mm)

重量	約100Kg
----	--------

注:

1. カスタマ・バーコードは 10ポイントのみ印刷できます。
2. 16インチ幅用紙を使用する場合は、印刷開始位置に制約があります。詳細については、A.1, 『用紙の仕様』、A.2, 『用紙の印刷可能範囲』を参照してください。

## パラレル・ポート接続/LPR接続

PC と接続するパラレル・ポート接続およびLPR接続の基本仕様は次のとおりです。

印刷方式	シャトル機構印刷技術を使用した衝撃式印刷
印刷モード (行間隔が6 lpi時)	通常速モード 最高 360行/分 高速モード 最高 500行/分 超高速モード 最高 600行/分 高品位モード(片方向印字) コピー強化モード(5種類のモード: 印字力強化/二重印字/段差紙)
印刷形式	横書き、縦書き
印刷密度	7.09ドット/mm (180ドット/インチ)(横、縦、同密度)
行間隔	2, 3, 4, 5, 6, 7.5, 8 lpi
文字間隔	英数カナ文字: 10, 12, 13.3, 15 cpi 漢字: 5, 6, 6.7, 7.5 cpi
印刷幅	漢字: 最大66/68文字/行 (5 cpi) 英数カナ文字: 最大132/136文字/行 (10 cpi)
印刷可能文字セット	英数カナ文字セット 高さ24ドット 8種類 高さ18ドット 1種類 IBM漢字システム文字セット 高さ24ドット 1種類 (JIS/83対応) 高さ18ドット 1種類 ユーザー定義文字 1種類
バーコード	種類: JAN標準、JAN短縮、CODE39、 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、 NW7 (Codabar)、カスタマ・バーコード (注1) 回転: 0°、90°、180°、270° (時計回り) 大きさ: 標準サイズ、拡大
印刷用紙サイズ	連続用紙 幅 3.5インチ~16インチ (注2) 長さ 8インチ~12インチ
電源	AC 100V (±10V)、50/60Hz (±1Hz)
最大消費電力	1.5KVA
寸法	幅660 × 奥行720 × 高さ1000 (mm)
重量	約100Kg

注:

1. カスタマ・バーコードは 10ポイントのみ印刷できます。
2. 16インチ幅用紙を使用する場合は、印刷開始位置に制約があります。詳細については、A.1, 『用紙の仕様』、A.2, 『用紙の印刷可能範囲』を参照してください。

## 4.2 ホスト・システムとの接続

次の接続ポートを使用してホスト・システムと接続します。

- システム・ポート
- パラレル・ポート
- Telnet5250 (LAN フィーチャー)
- LPR (LAN フィーチャー)

### 4.2.1 システム・ポート接続

IBM 5400-006は、下記のホスト・システムの下で、ワークステーションとして使用されます。

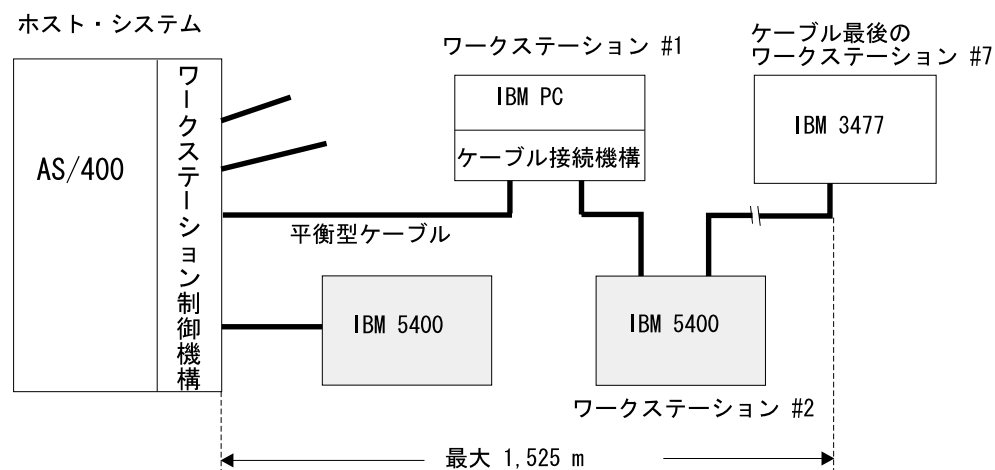
- IBM AS/400  
制御プログラム: OS/400 (バージョン1 リリース 3.0以上)

IBM 5400-006とホスト・システムは、平衡型ケーブルを通して接続されます。このケーブルは、ホスト・システムのワークステーション制御機構と、ワークステーションのケーブル接続機構とを結び、最大1,525 mまで延長できます。

注: 1本のケーブルには、最大7台までのワークステーションを接続することができます。

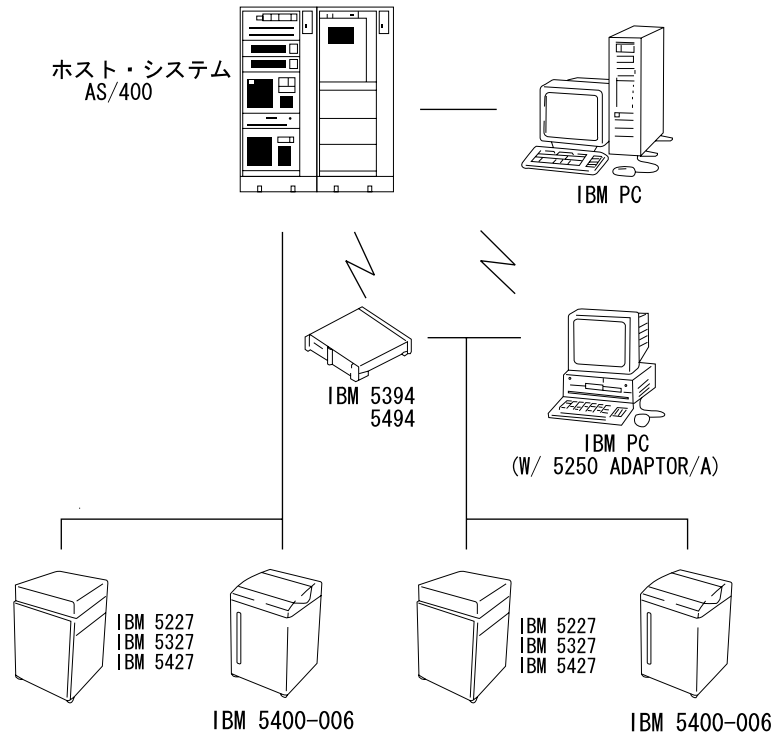
ケーブル接続機構の特徴として、同じケーブルに接続されているいくつかのワークステーションが機能していなくても、残りのワークステーションは、その影響を受けずに使用できます。

ホスト・システムにワークステーションを接続した例を示します。



下図は、IBM 5400-006をホスト・システムに接続した場合の構成例を示しています。ホスト・システムに接続されるワークステーションの数は、ホスト・システムの制限およびユーザの必要に応じて決定されます。

また、IBM 5400-006はホスト・システムに直接接続またはIBM 5394/5494、IBMリモート5250アダプター/Aを通して遠隔的に接続することもできます。



#### 4.2.2 パラレル・ポート接続

IBM 5400-006は、IBM PC や RS/6000 などに接続されます。

### 4.2.3 Telnet5250 接続

IBM 5400-006 LANフィーチャーは、TCP/IPプロトコルでの Telnet Client機能の標準サポートにより AS/400 Telnet Printer Pass-Through Mode (TPPT) を使用して LAN 経由で直接 AS/400 に接続できます。

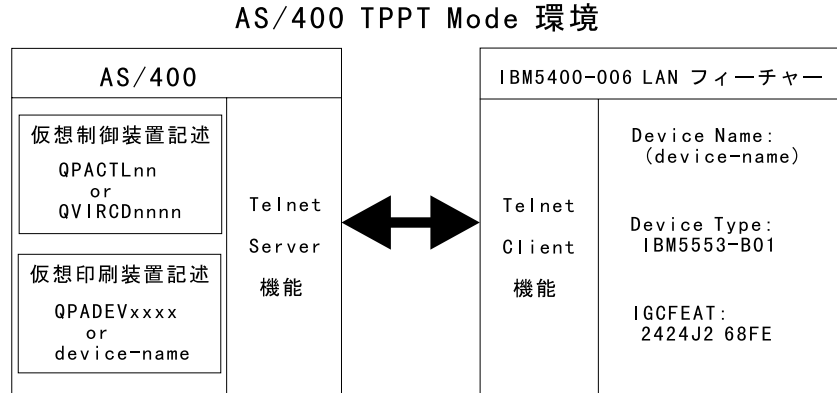


図 4-1. AS/400 TPPT モード

#### 1 AS/400 Telnet 関連システム・コマンド

- a. STRTCPSVR (Start TCP/IP Server) コマンド

Telnet Server 機能を QSYSWRK サブシステム上に起動する

- b. CHGTELNA (Change Telnet Attributes) コマンド

AUTOSTART パラメーターにより TCP/IP 開始時に自動的に Telnet Server 機能を開始させるかどうかを設定する。

- c. CHGSYSVAL (Change System Value) コマンド

QAUTOVRTシステム値により自動構成で作成可能な仮想装置の最大数を設定する。

#### 2 AS/400 構成記述の作成

IBM 5400-006 を仮想印刷装置として Telnet に接続するためには以下の2つの方法があります。

- a. 自動構成による接続

AS/400 上で TCP/IP が起動していることを確認後、IBM 5400-006 にネットワーク・ケーブルを接続し IBM 5400-006 の電源をいれる。仮想制御装置記述 QPACTLnn と仮想印刷装置記述 QPADEVxxxx が自動構成により作成される。

- b. 印刷装置名の設定後、自動構成による接続

IBM 5400-006 のオペレータ・パネル・メニューでデバイス名を入力後、自動構成を行う。仮想制御装置記述 QVIRCDnnnn と仮想印刷装置記述 device-name が自動構成により作成される。



注: 詳細情報、追加情報については、「AS/400e TCP/IP Configuration and Reference Version 4」、SC41-5420 の『第6章 Telnet Server』Telnet Printer Pass-Through Modeの項を参照してください。

注: AS/400 の TCP/IP 関連については、最新の PTF を適用してください。

#### 4.2.4 LPR 接続

IBM 5400-006 LANフィーチャーは、TCP/IP プロトコルでの LPR 接続を標準にサポートしています。これにより LAN 経由での印刷が可能となります。

プリンター・キューには、LP1、LP2 が使用可能です。LP2 を指定した場合には、改行コード (LF 0x0A) を改行+復帰 (CR 0x0A + LF 0x0D) に変換し、印刷されます。LP1、LP2 以外のプリンター・キューを指定した場合、LP1 で印刷されます。また、LPR プロトコルでのサブコマンド (パナーページ指定、コピー部数指定など) はサポートされていません。

## 4.3 AS/400 接続時の基本機能

AS/400と接続して使用する場合の基本的な機能について説明します。

### 4.3.1 印刷可能文字

IBM 5400-006で使用できる文字の種類と大きさは次のとおりです。

#### 文字セット

使用できる文字セットは、次のとおりです。

- 2バイトのIBM漢字コードで表現されるIBM提供システム文字セット（詳細は「IBM漢字システム文字セット一覧表」、N:GC18-0611を参照してください。）
- 1バイトのEBCDICコードで表現される英数カナ文字セット（IBMカタカナ文字セットおよびIBM英小文字セットを指します。）
- 2バイトのコードで表現される縦書用特殊文字セット
- お客様が独自に選択、デザインした文字（ユーザー定義文字）

各文字セットの構成は次のとおりです。

文字セット	文字数
英数カナ文字セット (カタカナEBCDICセット:1バイト)	130字
英数文字セット (英小文字EBCDICセット)	163字
IBM漢字システム文字セット(2バイト)	
基本漢字セット	3,226字
拡張漢字セット	3,487字
基本非漢字セット(アルファベット、カタカナ、ひらがな)	416字
拡張非漢字セット(ギリシャ文字、ロシア文字、ローマ数字)	134字
縦書き用特殊文字セット	39字
ユーザー定義文字(2バイト)	4,370字まで可能
ユーザー定義文字(2バイト)・LAN フィーチャー (Telnet5250)	256字まで可能

IBM漢字システム文字セットには、高さ24ドットと高さ18ドットのフォントがあります。英数カナ文字セットおよび英数文字セットには、12 cpi 明朝体、10 cpi 明朝体、ゴシック体、クーリエ体、エリート体、コンデンス体、擬似OCR-B体のフォント・スタイルがあります。さらに、これとは別に高さ18ドットと縦書用のフォントがあります。

これらの文字セットのフォントのうち、ユーザー定義文字以外は、IBM 5400-006印刷装置の読取専用記憶域 (ROS) の中に格納されています。

ユーザー定義文字のフォントは、印刷時に必要に応じてホスト・システムから文字情報の一部として送られてきます。

注: 本節では、英数カナ文字と漢字を次の意味で使用します。

英数カナ文字: 1バイト・コードで表現されるカタカナ、数字、アルファベットなどのEBCDIC文字。

漢字: 2バイト・コードで表現されるIBM漢字システム文字セット(漢字、ひらがな、カタカナ、数字アルファベット、特殊記号)およびユーザー定義文字。

## 文字の種類とサイズ

IBM 5400-006では、初期設定およびホストからのコマンドにより、9種類の英数カナ文字と2種類の漢字を印刷することができます。印刷される文字はすべて縦横ともに7.09ドット/mm (180ドット/インチ)の密度で印字されます。(初期設定については2.12、『初期設定』を参照してください。)また、それぞれの文字は横2倍、縦2倍、縦横2倍、縦横3倍、縦横4倍にそれぞれ拡大することができます。

高さ24ドット文字、高さ18ドット文字、拡大文字の定義は次のとおりです。

高さ24ドット文字: 幅10, 12, 15または18個、高さ24個のドット・マトリックスで表される英数カナ文字(1バイト文字)と幅24個高さ24個のドット・マトリックスで表現される漢字(2バイト文字)およびユーザー定義文字。

高さ18ドット文字: 幅12、高さ18個のドット・マトリックスで表される英数カナ文字(2バイト文字)と幅24個、高さ18個のドット・マトリックスで表現される漢字(2バイト文字)。この文字は、8 lpiの印刷でもイメージが欠けることなく印刷できます。

拡大文字: 高さ24ドット文字および高さ18ドット文字を横、縦または縦横に2倍、縦横3倍、縦横4倍の大きさに拡大した文字。

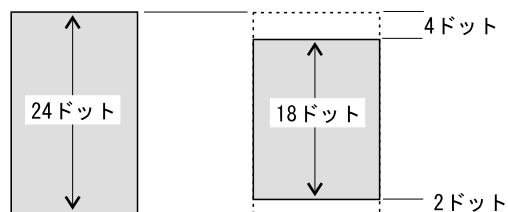
各種文字の大きさと印刷例を以下に示してあります。

	文字の種類	文字の大きさ 幅×高さ	標準サイズ	拡大文字(横2倍)	
高さ 24ドット	英 数 カ ナ 文 字	明朝体12 cpi	12×24	IBM JAPAN	IBM JAPAN
		明朝体10 cpi	18×24	IBM JAPAN	IBM JAPAN
		ゴシック	15×24	IBM JAPAN	IBM JAPAN
		疑似OCR-B	12×24	IBM JAPAN	IBM JAPAN
		縦書き用	12×24	IBM JAPAN	IBM JAPAN
		コンデンス	10×24	IBM JAPAN	IBM JAPAN
		クーリエ	18×24	IBM JAPAN	IBM JAPAN
	エリート	15×24	IBM JAPAN	IBM JAPAN	
	漢字(注2)	24×24	大和研究所	大和研究所	
高さ 18ドット	英数カナ文字	12×18	IBM JAPAN	IBM JAPAN	
	漢字	24×18	大和研究所	大和研究所	

注:

1. 拡大文字および縦書きは、多機能漢字印刷ユーティリティ(APW)の使用により使用可能となります。
2. 漢字にはユーザー定義文字を含みます。

高さ24ドット文字と高さ18ドット文字との位置関係は次のとおりです。



高さ24ドット文字

高さ18ドット文字

### 4.3.2 印刷密度

IBM 5400-006で使用できる文字間隔および行間隔は次のとおりです。

文字間隔（単位 1 インチ当たりの文字数: **cpi**）

文字セット	標準サイズ文字	倍角文字
英数カナ文字	10, 12, 13.3, 15, 18	5, 6, 6.7, 7.5, 9
漢字および ユーザー定義文字	5, 6, 6.7, 7.5	2.5, 3, 3.3, 3.75

注: システム/36, AS/400の違いにより使用できる指定は異なります。4.1.1, 『基本仕様』を参照してください。

行間隔（単位 1 インチ当たりの行数: **lpi**）

すべての文字: 4, 6, 7.5 (APW使用の場合)、8 (120:罫線用) lpi

### 4.3.3 印刷速度

本装置の印刷速度は、行間隔が 6 lpi で、通常速モードでは最大360行/分、高速モードでは500行/分、超高速モードでは600行/分です。実際の印刷速度は下記のような要素によって決まります。

1. ホスト・システムの処理能力
2. システム構成

さらにIBM 5400-006の印刷速度は次のような要素の影響を受けます。

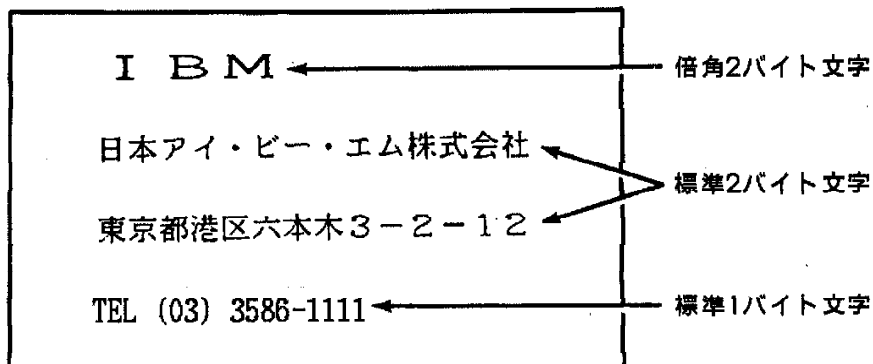
- 1行当たりの印刷幅
- 1行当たりに含まれる倍角文字数
- 1行当たりに含まれるユーザー定義文字の数
- 印刷形式（横書き、縦書き）
- 1行当たりに含まれる漢字の数
- 1行当たりに含まれる英数カナ文字の数
- 文字デザイン
- 行間隔 (lpi)
- 文字間隔 (cpi)
- 逆送り印刷モードの選択（初期設定の際の選択）
- 罫線印刷使用の有無
- バーコードの有無
- 縦拡大文字の有無

### 4.3.4 印刷形式（横書き、縦書き）

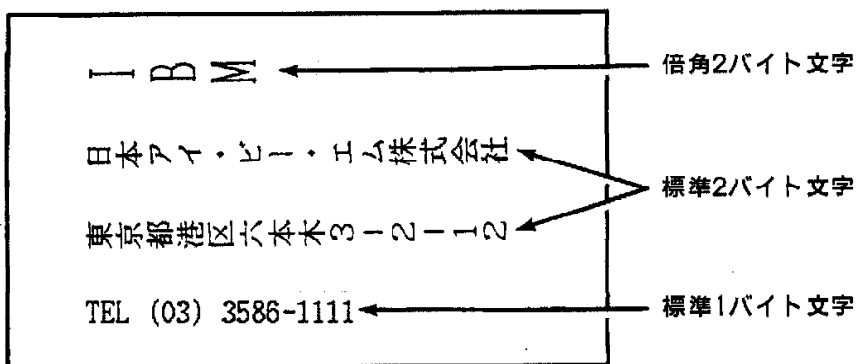
IBM 5400-006では、下記のように横書きと縦書きの2種類の出力形式で印刷することができます。これらの形式は、すべてホスト・システムのプログラムによって制御されます。

出力形式

- 横書き



- 縦書き



注:

1. 1バイト文字（英数カナ文字および英数文字）の縦書きは、「縦書用1バイト文字」を初期設定時またはホストからのコマンドで選択することにより可能となります。2バイト文字のうち、「」などの特殊文字については、縦書き用には縦書き用特殊文字セットが準備されており、IBM 5400-006により自動的に選択されます。
2. 倍角文字および縦書きは、多機能漢字印刷ユーティリティ（APW）の使用により使用可能になります。

### 4.3.5 ホスト・システムによる機能の制約

IBM 5400-006は、ホスト・システムによってIBM 5553印刷装置(AS/400)またはIBM 5227印刷装置(S/36)として扱われます。そのためシステムにより下記の制約があります。プログラム作成のときご注意ください。

		AS/400		AS/Entry、S/36	
		1バイト	2バイト	1バイト	2バイト
文字 間 隔 (dpi)	5				
	6				
	6.7				
	7.5				
	10				
	12	(注)			
	13.3	(注)			
	15				
	18				
行 間 隔 (lpi)	4				
	6				
	7.5				
	8				
拡大文字印刷					
縦書の指定					
漢字制御文字 の選択					

：使用可能      ：使用不可

注： ユーザー定義文字の登録や設計はIBMシステム/36、AS/400では文字生成ユーティリティ(CGU)によって可能になります。

文字生成ユーティリティの詳細については、「IBMシステム/36文字生成ユーティリティ(CGU)の手引き」、N:SC09-1055または「IBM AS/400適用業務開発ツール：CGU使用者の手引き」、N:SC09-1170を参照してください。

### 4.3.6 Telnet5250 接続時の制約

IBM 5400-006 LAN フィーチャーで Telnet5250 接続を使う場合、従来の直接接続に比べ、ユーザー定義文字に関して制約があります。

Telnet5250 にて AS/400 に接続した場合、ユーザー定義文字ロードユーティリティで事前にユーザー定義文字を印刷装置に登録する必要があります。また、登録可能な文字数は、256文字です。

ユーザー定義文字のロードは、G-1ページの付録G、『ユーザー定義文字のロード (Telnet5250 接続)』を参照ください。



## 4.4 パラレル・ポート接続および LPR 接続の基本機能

PC と接続した場合の基本的な機能について説明します。

### 4.4.1 5577プリンターとしての使用

IBM 5400-006は、5577の連続紙モードとして使用可能です。OS、アプリケーションなどでプリンターの指定が必要な場合は、5577プリンターとして指定してください。連続紙のみ使用可能です。

注： IBMパーソナル・コミュニケーションズを使用される場合は、プリンター設定の「PDTファイルの使用」を選択し、PDTファイル「IBM5577.PDT」を指定してください。

### 4.4.2 印刷可能文字

IBM 5400-006で使用できる文字の種類と大きさは次のとおりです。

#### 文字セット

IBM 5400-006で使用できる文字セットは、日本語DOS文字セット（半角文字、全角文字）です。

- 2バイトの日本語DOSコードで表現される全角文字セット
- 1バイトの日本語DOSコードで表現される半角英数カナ文字セット

全角文字セットには、高さ24ドットと高さ18ドットのフォントがあります。半角英数カナ文字セットには、12 cpi 明朝体、10 cpi 明朝体、ゴシック体、クーリエ体、エリート体、コンデンス体、疑似OCR-B体、DPゴシック体のフォント・スタイルがあります。さらに、これとは別に高さ18ドットと縦書き用のフォントがあります。

これらの文字セットのフォントのうち、ユーザー定義文字以外は、IBM 5400-006の読取専用記憶域 (ROS) の中に格納されています。

ユーザー定義文字のフォントは、印刷時に必要に応じてホスト・システムから文字情報の一部として送られてきます。

注： 本章では、英数カナ文字と漢字を次の意味で使用します。

英数カナ文字： 1バイト・コードで表現されるカタカナ、数字、アルファベットなどの半角文字。

漢字： 2バイト・コードで表現される全角文字（漢字、ひらがな、カタカナ、数字アルファベット、および特殊記号）およびユーザー定義文字。

## 文字の種類とサイズ

IBM 5400-006では、初期設定により、10種類の英数カナ文字と2種類の漢字を印刷することができます。印刷される文字はすべて縦横ともに 7.09ドット/mm (180ドット/インチ)の密度で印字されます。(初期設定については 2.12, 『初期設定』を参照してください。)

高さ24ドット文字、高さ18ドット文字の定義は次のとおりです。

高さ24ドット文字: 幅10、12、15または18個、高さ24個のドット・マトリックスで表される英数カナ文字(1バイト文字)と幅24個高さ24個のドット・マトリックスで表現される漢字(2バイト文字)およびユーザー定義文字。

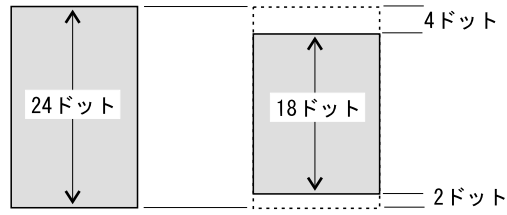
高さ18ドット文字: 幅12、高さ18個のドット・マトリックスで表される英数カナ文字(1バイト文字)と幅24個、高さ18個のドット・マトリックスで表現される漢字(2バイト文字)。この文字は、8 lpiの印刷でもイメージが欠けることなく印刷できます。

各種文字の大きさと印刷例を以下に示してあります。

	文字の種類	文字の大きさ 幅×高さ	印字サンプル	
高さ24ドット	明朝体12 cpi	12×24	IBM JAPAN	
	明朝体10 cpi	18×24	IBM JAPAN	
	ゴシック	15×24	IBM JAPAN	
	英数 カナ 文字	疑似OCR-B	12×24	IBM JAPAN
		縦書き用	12×24	IBM JAPAN
		コンデンス	10×24	IBM JAPAN
		クーリエ	18×24	IBM JAPAN
		エリート	15×24	IBM JAPAN
		DPゴシック	18×24	IBM JAPAN
	漢字(注)	24×24	大和研究所	
高さ18ドット	英数カナ文字	12×18	IBM JAPAN	
	漢字	24×18	大和研究所	

注: 漢字にはユーザー定義文字を含みます。

高さ24ドット文字と高さ18ドット文字との位置関係は次のとおりです。



高さ24ドット文字

高さ18ドット文字

### 4.4.3 印刷密度

IBM 5400-006で使用できる文字間隔および行間隔は次のとおりです。

文字間隔 (単位 1 インチ当たりの文字数: **cpi**)

文字セット	標準サイズ文字
英数カナ文字	10*, 12*, 13.3, 15
漢字および ユーザー定義文字	5*, 6*, 6.7, 7.5

注: 3270パーソナル コンピューター使用時は\*の文字サイズです。

行間隔 (単位 1 インチ当たりの行数: **lpi**)

すべての文字: 2, 3, 4, 5, 6, 7.5, 8 lpi

#### 4.4.4 印刷速度

本装置の印刷速度は、行間隔が 6 lpi で、通常速モードでは最大360行/分、高速モードでは500行/分、超高速モードでは600行/分です。実際の印刷速度は下記のような要素によって決まります。

1. ホスト・システムの処理能力
2. システム構成
3. IBM PC のモデル
4. 日本語3270パーソナル コンピューターまたは日本語3270パーソナル コンピューター/2 のシステム生成の中の指定内容

注 1 ) 印刷速度の低下などの障害を防止するために使用される日本語3270パーソナル コンピューターまたは日本語3270パーソナル コンピューター/2 システム生成の中の指定を必ず下記のように設定してください。

- 日本語3270パーソナル コンピューターをお使いの場合：  
システム生成の中の「フォント内蔵プリンターの使用」に対し「はい(レベルE)」を指定してシステム生成を行ってください。
- 日本語3270パーソナル コンピューター/2 をお使いの場合：  
システム生成の中の「プリンターの種類」に対し「5575/5577」を指定してシステム生成を行ってください。

注 2 ) OS/2上でスプーラを使用するときは、用紙長設定値を、使用する用紙の用紙長と同じにしてください。

注 3 ) 日本語DOS上でプリンター・ドライバーの指定は、CONFIG.SYSファイル内で必ず\$PRN24Eを指定してください。

さらにIBM 5400-006の印刷速度は次のような要素の影響を受けます。

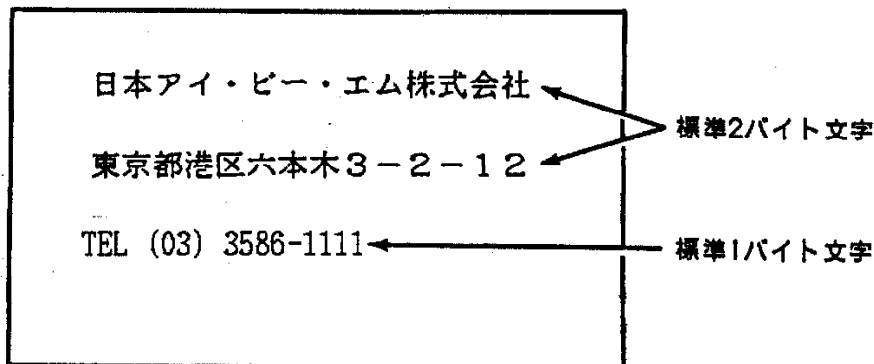
- 1行当たりの印刷幅
- 1行当たりに含まれるユーザー定義文字の数
- 印刷形式(横書き、縦書き)
- 1行当たりに含まれる漢字の数
- 1行当たりに含まれる英数カナ文字の数
- 文字デザイン
- 行間隔 (lpi)
- 文字間隔 (cpi)
- 逆送り印刷モードの選択(初期設定の際の選択)
- 罫線印刷使用の有無

#### 4.4.5 印刷形式（横書き、縦書き）

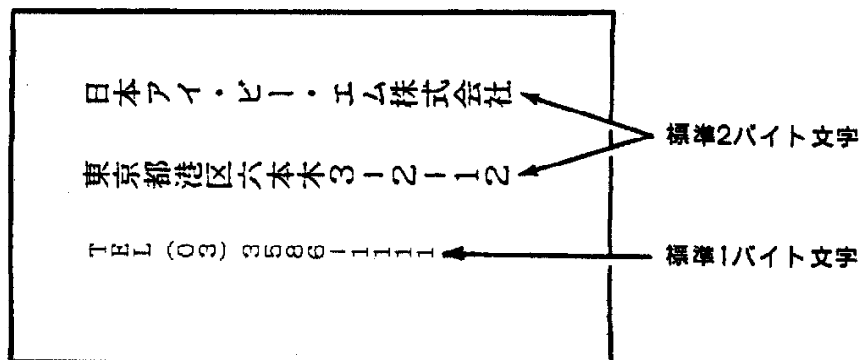
IBM 5400-006では、下記のように横書きと縦書きの2種類の出力形式で印刷することができます。これらの形式は、IBM 5400-006の初期設定により選択できます。初期設定については2.12、『初期設定』を参照してください。

出力形式

- 横書き



- 縦書き



#### 4.4.6 LPR

IBM 5400-006 LAN フィーチャー で LPR 接続を使用する場合、キュー名には、"LP1"、"LP2" を使用することができます。"LP1" に指定したときには、データは無変換で印刷されますが、"LP2" に指定したときには、LF (Line Feed) を CR+LF (CarriageReturn + LineFeed) に変換して印刷されます。キュー名に、"LP1"、"LP2" 以外を指定した場合には、"LP1" を使用して印刷されます。